平成26年度　大阪府保健所圏域　地域・職域連携推進事業の取組状況

１　大阪府保健所（12か所における取組み）

　（１）主な参画機関

　　　地域：市町村（健康づくり所管課、国民健康保険所管課、人事課、教育委員会）

　　　　　　郡市区医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域活動栄養士、食生活改善推進員

　　　　　　特定給食研究会　等

　　　職域：労働基準協会、地域産業保健センター、商工会、商工会議所、企業

　　　保険者：全国健康保険協会大阪支部

　（２）主な内容

　　　①高血圧対策

　　　・正しい知識の普及（最新の高血圧対策、減塩について、野菜摂取等）

　　　・減塩メニューの推進

・啓発媒体の作成　等

　　　②特定健診受診率向上策の検討

　　　③がん検診受診率向上策の検討

　　　④たばこ対策

　　　・啓発の実施（キャンペーン、商工会議所会報誌への掲載　等）

　　　⑤糖尿病対策

　　　・実態調査、研修会　等

　　　⑥メンタルヘルス対策

　　　・改正労働安全衛生法と職場のメンタルヘルス

　　　・自殺予防　等

⑦地域診断による健康課題の把握

　（３）成果（主なもの）

・共同での取組みにより、連携が深まった。

・関係者間での健康づくりに関する情報交換、情報共有につながった。

・各機関の取組み、役割、健康課題等の共有ができた。

・メンタルヘルス、高血圧対策等に関する意義や理解が深められた。

・関係機関が協力して実施することで、効果的な啓発ができた。

・アンケートによる健康課題の把握につながった。

・協会けんぽの集団健診時の啓発により、市のがん検診受診につながった。

・ 商工会議所ニュースに取り上げてもらったことで、地域産業保健センター利用につながった。

　（４）課題（「（３）」の成果がある一方で、課題と感じていること）

　　　・地域と職域の双方に共通して関心が高いテーマを設定することが困難。

　　　・保健所側が、職域の現状や課題についての把握することが難しく、十分できていない。

　　　・講演会等を開催した際に、職域からの参加が少ない。

【課題を解決するために工夫できること、テーマ設定についての御意見 等】